

# 月信

GOVERNOR'S  
MONTHLY LETTER



世界に希望を生み出そう



6 2024  
June  
Vol. 12

To Club Presidents Secretaries in District 2790 (CHIBA)



大賀ハスつぼみとトンボ(千葉市・千葉公園)  
撮影:西村信行 会員(千葉若潮RC)

## 2023-24年度地区スローガン

# Bring up Engagement

エンゲージメントを育もう

ガバナー 鵜沢 和広(千葉若潮RC)

## ガバナー月信6月号に寄せて

皆さんは「ロータリアンの木」のことは何となくご存じだと思います。ロータリアンを木に例えるならばその成長に「親睦と学び」という養分は欠かせません。つまり、「親睦と学び」の中核である例会に出席し、クラブ会員とフェロシップを築きお互いに学び成長することです。ポール・ハリスは寂しかったからロータリークラブを作りました。ただし

ポール達は一緒にお酒を飲むだけの友達が欲しかったのではありません。仕事への情熱や人生について語り合える相手が欲しかったのです。

そしてロータリーの理念を共有しお互いの価値観を理解できる相手と信頼関係を結び、お互いに成長できるフェローが欲しかったのです。



100年前にRIの会長を務めたGuy Gundakerは「素晴らしい真のロータリアン」とは、「ロータリーで親睦と学びを通じて成長し、事業、業界、そして社会の向上に貢献する人である。具体的には、親睦と学びの場である例会に必ず出席し、ロータリーの歴史や伝統、価値や奉仕理念を学び、職業観や人生観を深め、奉仕の意欲を高め、奉仕の心を磨き、事業経営、業界、社会に対する見識を広め、かつ向上発展に努め、何より寛容な心でロータリーの志を共にする者同士の仲間意識を強め合いながら、自らの使命として世の中に貢献していくロータリアンである。」と説いています。どうか皆さんも「素晴らしいロータリアン」を目指して親睦と学びを深めて行ってください。

私にとってこの月信6月号がガバナーとして投稿する最後となります。私のガバナーへの道、そしてガバナー年度を通してどんなエンゲージメントを育めたか振り返らせて頂きます。

私の所属する千葉若潮RCは2024年5月に創立25周年を迎えました。この創立25周年に向けてクラブが一丸となって出来る事業は何かと考えたとき、思いついたのがガバナーホストクラブとなって地区をリードすることでした。地区での委員長歴や2019-20年度にガバナー補佐を務めた経験から私がガバナーノミニージェグネートに立候補することとなり、クラブ会員全員の応援を受けてガバナーへの道を歩み始めました。初めてパストガバナーで構成される地区諮問委員会に出席したときは、丁度地区グループ再編について紛糾している時でパストガバナーの皆さんが大変エキサイトされている時でした。「怖いところに来てしまったなあ」これが第一印象でした。あの時のガ

バナーノミニーであった小倉PDGと二人で何とか嵐が収まってくれないかと気をもんだものでした。漆原ガバナーの英断で嵐も収まり、梶原ガバナー年度が始まり今度は私もガバナーノミニーとしてガバナー年度へ向けての構想を練り、準備を始めることとなりました。地区運営の扇の要となる地区幹事長に大木英之さんを指名して、その他三大セミナーや地区大会、地区ゴルフ大会の実行チームの編成と順調に推移しました。次は最も重要な、私の拠り所となって地区チームをけん引して下さる地区研修リーダー（現地区ラーニングファシリテーター）の人選を考える時となります。私は、2018-19年度に地区職業奉仕委員長を拝命し、クラブで卓話をして廻った経験があります。その時の私の卓話のテーマは「理念と実践のバランス」でありました。その前年度にガバナーを務められた寺嶋哲生PDGの地区スローガンが「理念と実践」であり、この方の他には考えられないと柏の地へお願いに上がったのが思い出されます。寺嶋さんから快諾を頂きこれで準備万端です。ノミニーとしての年度の4月にガバナー補佐の推薦の依頼を各クラブに対してお願いして、グループの総意を得られたガバナー補佐予定者が出そろったのはエレクト年度の8月に入ってからでした。9月に初顔合わせの懇親会を行い、私は最初だったので肩に力が入りすぎて思うように気持ちを伝えきれなかったのですが、さすが寺嶋さんが皆さんを納得させるお話をしてくださって良い顔合わせが出来たと記憶しています。ガバナー補佐予定者の皆さんとは回を重ねるごとに意思疎通が良くなり、私の思いを伝えられるようになりました。そして、私が目指したガバナー補佐同士の連

携もチーム制の導入でその成果が表れて来ました。次には各委員会の編成です。いろいろありましたが12月までに委員会組織を纏めて地区諮問委員会で報告を済ませ、パストガバナーの皆さんに壮行会を開いて頂き翌1月の国際協議会へ旅立ったのが昨日のこのように思われます。新型コロナの終息を願いつつフロリダ州オーランドでは同期のガバナーエレクトと昼はセッションで白熱し、夜は時間を忘れてロータリー談議で盛り上がり、ガバナー年度に向けて心を一つにして参りました。国際協議会終了後は三大セミナーでのお互いの健闘を祈りながら各地区へ戻って行きました。私も帰国後早々に準備に取り掛かり、渡米前から温めていた地区スローガンを纏めて地区チームセミナーで発表し、同時に国際協議会で会得した演台を使わないピンマイクでのプレゼン方式を取り入れて、私なりのパフォーマンスでアピール出来たと自負しています。三大セミナーも回を経るごとに実行委員会チームや地区幹事団の結束とスキルが高まり盛り上がり参りました。そしてとうとう待ちに待ったガバナー年度がスタートしました。私は10月の地区大会まではクラブへの公式訪問は行わず、ガバナー補佐に積極的なクラブ支援をお願いしました。ガバナー補佐の皆さんはやる事が多く大変だったと思いますが、私に良く付き合ってくれましたと感謝しています。ガバナーとして最大のイベントであります地区大会は、韓国より元RI会長の李東建様がRI会長代理としてご来会くださいました。日本の各地区からも地域リーダーや同期ガバナーそしてパストガバナーが大勢いらっしや、会を盛り上げて下さいました。晩餐会でのジョン・健・ヌッツォのテノールや、本

会議での銚子電鉄竹本社長の笑いあり涙ありのご講演や、オールディーズで盛り上がった大懇親会などに加え、名刺広告では多くのロータリアンが友情を発揮して下さいました。どれをとってもガバナー冥利に尽きる夢のような地区大会でした。公式訪問はクラブ合同開催も有り83のクラブと5つのローターアクトクラブに対して66回の訪問で終了しました。千葉若潮RCのメンバーが代わる代わるメイクアップで同行してくれて勇気が湧きました。クラブ協議会は開催せず懇談会と例会での卓話という例年とは違うスタイルでしたが、クラブの皆さんが歓迎して下さいましたので素晴らしい思い出になりました。委員会の皆さんもそれぞれ活発に活動してくださり、各種セミナーやプロジェクトの開催で地区を盛り上げて下さいました。親子三代夏祭りやRYLAセミナー、鋸山清掃や沖ノ島プロジェクトをはじめラーニングセミナー、RLIセミナー、米山奨学会、青少年交換、インターアクト、ローターアクト、ポーランド大使館夕食会、ポリオ根絶祈願チャリティーゴルフコンペ、パキスタンポリオチーム報告会、シンガポール地区ナイト…等々すべての委員会が素晴らしい活動をしてくださいエンゲージメントを育むことが出来ました。一年間私のメッセージを読んで頂いた皆様の温かな心に感謝を申し上げ、そして寄稿された皆様の文章の添削・校正をして読みやすく愛される月信作りを目指された月信委員会メンバーの皆様のご努力を讃えつつガバナーの筆を置かせて頂きます。…素晴らしい一年間をありがとうございました。…

**ご協力ありがとうございました。**

台湾東部沖地震災害支援金として  
333万円を送金させていただきました。





## 鵜沢ガバナーの傍らで

地区ラーニングファシリテーター 寺嶋 哲生 (柏 RC)

加齢とともに、年々時  
が速く進んで参ります。鵜  
沢ガバナーの傍らで過ご  
した2年弱の期間が、間  
もなく終わろうとしております。この2年間は、私  
のロータリー・モーメントにおいても充実した  
時間でありました。

「自ら望んでガバナーに就任する」、鵜沢ガ  
バナーご自身がそう語られた通り、ロータリー  
に対する確かな知識に基づいて深く考察さ  
れ、緻密に準備され、果敢に行動された、そ  
んな2年であったと感じます。エレクト就任時  
において、鵜沢ガバナーは既に正しくロータリー  
を理解され、RI役員としてのガバナーの任務  
を遂行する為の方法論を考察されていた。エ  
レクトの前半の間に、地区チームを組成した  
のみならず、チームに対する具体的な任務を  
も示された。私のエレクト時代とは雲泥の差、  
傍らでその手腕を拝見しながら「なるほど、ガ  
バナーとはこう行動すれば良かったのか」、  
ずっとそんな事を感じておりました。

しかし「Bring up Engagement」との表現  
は秀逸です。私達は何故ロータリーの会員で  
いるのか。ロータリーが人々に必要とされる存  
在である為の要件は何か。ロータリークラブが  
具体的な活動を行うに当たり、その前提とな  
るロータリーの存在理由とは何か。ポール・ハ  
リスが「寂しかったから」と表現した概念に通  
じる、何よりも大切にされるべき要件を一言で  
表現している。鵜沢年度の終わりに、更にこの

言葉の深みを感じます。

概念と具体、あるいは、抽象と具象、このバ  
ランスも絶妙でした。追々、抽象的な観念論  
からのみ語られるロータリー、あるいは、RIの  
示す方法論のメッセンジャーとしてのみ発せ  
られる言葉。多くのリーダーが陥る二つの偏  
重とは全く無縁、「公式訪問」の意義を明確  
に体现したガバナー・アドレスをお聞き致しま  
した。

最近の音楽やダンス、スポーツを見るにつ  
け、全てに「進化」を感じます。桑田佳祐は天  
才であります。Adoは更に高度です。アバン  
ギャルディのダンスの前では、トラボルタは殆ど  
静止しているかのようです。ベーブ・ルースの  
時代であったなら、大谷翔平は30勝・60HR  
に届いたかも知れません。ロータリーも確実に  
進化している。鵜沢ガバナーの傍らで過ごし  
た2年の間に、そんな事を感じました。

先進国におけるの会員減少は、ロータリー  
の存在意義の低下を意味するのでありましょ  
う。21世紀となってRIが示すビジョンの数々  
は、ロータリーの存在意義を再構築するた  
めの試行錯誤です。「ロータリーは、時代に適合  
しなければならない」とする2015年の理事会  
合意は、ロータリーの存続に不可欠な進化で  
あります。果敢にそのミッションに挑まれた鵜  
沢ガバナーの傍らに居られたことは、私にと  
って幸いな2年間でありました。鵜沢ガバナーの  
更なるご活躍をご期待申し上げます。



## 鵜沢殿の14人

2023-24年度地区幹事長 大木 英之 (千葉若潮 RC)

「RI会長代理は李東建元 RI会長に本当になっちゃうみたいよ」ガバナーからの年度最初の連絡に、電話を落としそうになるくらいの衝撃を受け、ガバナー年度は幕を開けました。

すでに準備を進めていた地区大会内容が180度転換することになり、いやいや困ったと思いながらもあっという間に8月の地区ポリオデーの神輿担ぎの日を迎え、人は良いけど、人相はいかつい先輩ロータリーアンを魔除け写真として撮った一枚が後にポリオデーフォトコンテストで公共イメージコーディネーター賞を受賞することになるとは思いませんでした。生涯唯一のフォトコンテストでの受賞経歴を得たことはまさにプライスレスな経験でした。

例年暑い夏の頃には公式訪問が始まっていましたが、本年度は地区大会後に公式訪問を行うという方針で、ガバナーの分身である14名のガバナー補佐(以下、AG)には「Bring up Engagement」の説明とグループ内クラブの状況把握をガバナーに成り代わり複数回訪問し、実行せよと密命が下されました。

頼朝公没後の鎌倉では將軍の座を目指す13人の暗闘がありましたが、当地区のAG14名はガバナーの命を厳格に守り、足繫くクラブを訪問し、各グループ内クラブの問題解決の一助となるように情報研修会やIMの準備を進め、エンゲージメントを率先して育み、鵜沢ガバナーの地区スローガンの実践者となりました。また各AGの主催で合計14回のAGミーティングを行いました。AG間の横の連携がとても強固となり、多くのAGが自グループ以外の行事に足を運ばれたという事実とガバナーのリクエストに応え、地区大会にタキシードで参集した姿からも強固なエンゲージメントが育まれたことを理解で

きると思います。

この鵜沢ガバナーと14人のAGとの結びつきこそが「Bring up Engagement」の輝かしい功績であると個人的には感じております。

そしてこの鵜沢ガバナーと14人のAGを陰日向からサポートしていただいた寺嶋ラーニングファミリーーターには、ロータリーの「理念と実践」を改めて説いていただき、そして学ぶだけではなく「Take Action!」すなわち行動することの重要性を地区内に浸透していただきました。その結果、委員会・グループ・クラブで新たな取組やイベントが数多く生まれ、日経新聞の広告協賛金では全国34地区で断トツの成果を残すことができ、日本でも指折りの活気ある第2790地区という評価をさらに固めることができたと思います。

地区大会では、色々なことがありすぎてアップアップの酸欠状態でしたが、千葉若潮RCの地区大会実行委員会の用意周到な準備の力で大成功に導いてもらいました。その中でも李元RI会長の通訳問題が最後に出て大変困ったときに、鴨川RCの亀田美穂会員がその大役を引き受けていただいたときにほっとしたことが一番の思い出で、何も副賞はありませんが亀田会員こそが私のMVP賞です。そして大懇親会で私の手をやさしく握り、チークタイムの世界に導いていただいた市川東RCの荒井光江会員には最優秀助演女性会員賞をお渡ししたいくらいで、とても楽しいひと時を過ごせたことが今でも胸の裏によみがえります。

平凡なロータリー会員が、突如地区幹事長を務めることになり、第2790地区の中心で光り輝く人達と夢のような時を約2年半過ごさせていただきましたが、いつまでも夢の世界にいと年ごろの子供達に相手にされなくなってしまうようなので、そろそろ「普通のお父さん」に戻らせていただきます。



## 愉しさ倍増の一年をいただきました。 多くの出会いに感謝です！

第1グループガバナー補佐 山下 清俊（市川東 RC）

今年度、鶴沢ガバナーから、グループ内各クラブを何度も訪問し、クラブ活性化のお手伝いをするのが課されました。

そこで、クラブの活性化という観点で情報研修会やインターシティ・ミーティングを開催しようと考えました。鶴沢年度が始まる前の昨年4月に開催された第1～第3地域クラブ活性化セミナーに参加する機会に恵まれ、その中で第2780地区の岩澤あゆみ様が発表された会員増強についての内容に感銘を覚え、グループの情報研修会で講演をしていただきました。また、若い方々との接点として、ローターアクトクラブについて知る機会が欲しいとの思いから、インターシティ・ミーティングでは刈込彩佳地区ローターアクト幹事に講演をしていただきました。いずれも新たな出会いがあったからこそ出来たことです。

一年を通して各クラブの例会等に何度も押しかけましたが、毎回温かく迎えていただきました。単なる例会だけで無く、奉仕活動に同行したり、行事に参加したりすることで、それぞれのクラブの皆様との繋がりをより一層深めることが出来たと感じています。クラブの一員として、グループの一員として、そして地区の一員として、親睦を愉しみました。

親睦という意味では自分自身が愉しんでしまいましたが、各クラブの活性化に対して奉仕出来たでしょうか？ 鶴沢年度の終わりに向け、今一度各クラブを訪問し、その点をお聴きし、今後の糧にできればと思っております。

皆様、約1年半にわたりおつきあいいただき、ありがとうございました。



## 第2グループの会員の皆さんと共に

第2グループガバナー補佐 石井 博（船橋みなと RC）

ガバナー補佐になりまして最初に心に決めたことは、「第2グループの各会員皆さんに対する責任を果たさねば。いい加減な事は出来ない」でした。こりゃ1年間大変そうだなァ！

先ずは、

1. 会長幹事会としての予算組
2. 数回の各クラブ訪問とガバナー公式訪問直前 AG訪問のスケジュールリング
3. 情報研修会のプランニング
4. IMのプランニング——といった処でした。

1.の予算案については、会長幹事会自体には事務局も纏まったお金も無いので、どの事業も、例会振替、第2グループの会員全員登録(会員1人当たりの予算単価の低額化)等で予算額の固定化、明確化を計りました。

2.に関して、各クラブの事情や私自身の仕事の都合で結構苦勞しましたが、各クラブのご協力を得て

凌ぎました。

3.の情報研修会のテーマは、「Be friends!：友情を育てよう!」とし、第2グループロータリアン間の友情を育む事を狙って見ました。

4.のIMのテーマは、「さまざまな若者の意見」とし、平和フェローのMaciej Witek(マチェイ ヴィテク・ポーランド出身)さんと地区米山奨学生の玄 香花(ゲンコウカ・中国出身 千葉大学)さんに卓話をお願いしました。DEIのダイバーシティはこれから日本が活力を得るには大事な社会課題と考え、爽やかな多様な若者たちの意見を伺いました。

3.の情報研修会、4.のIM共に第2グループ130数名中100名近くの実質参加を得ました。各会議後の懇親会も盛り上がりました。

2023-24ロータリー年度も終盤に近づき、私も肩の荷を下ろしつつホッとしているところです。

さて最初に申し上げた「私の責任」に第2グループの皆さんの評価は如何。





## One Teamとなってエンゲージメントを育み合いました

第3グループガバナー補佐 海寶 勘一（千葉西 RC）

年度初めに、第3グループのクラブ会長、幹事、事務局の皆様が一堂に会した会合で、今年度のクラブ運営は、鶴沢ガバナー方針を受けた8クラブがOne Teamとなり、真のクラブ奉仕を目指す心意気を共有しスタートしました。鶴沢ガバナーは地区スローガンを「Bring up Engagement エンゲージメントを育もう」と明示され、日々理解するほどにその意味合いは新鮮であり、学ぶほどに意義を奥深く理解でき、ロータリアンとしての原理原則を試された実り深い一年でありました。各クラブへの訪問責務は、クラブ活性に向けたビジョンの策定と、長期計画の確認作業及び推進を伝搬することで、地区スローガンを十分に理解し実践してもらうためです。各クラブ間での切磋琢磨する機会均等を「ロータリー情報研修会とIM」の場で具現化させ、和やか

にロータリー談義を重ねる有意義な機会にすることができました。会員がクラブへの愛着心を高め互いに帰属意識を深め会員一人一人の貢献意欲に結び付ける学び合いは、とつても得難い体験です。鶴沢ガバナー自らが情熱を高め率先して研鑽を積み増しされ、常にクラブ活性を思い遣り、多くの示唆と寛容の精神を説き、研鑽し成長する大切さと尊さを明解に啓発された姿勢はお見事でした。私たち第3グループから輩出された、鶴沢ガバナーの凛々しい活躍ぶりを誇り感謝の1年でもあります。昨夏にポリオ根絶広報の神輿担ぎから始まった当グループの活動は、8クラブが互いに研鑽と鼓舞を重ね、One Teamとなってエンゲージメントを育み合うことができました。会員それぞれの立場で自分磨きができた喜びと矜持をもって、更なる貢献によってクラブの活性に帰属できることを信じ念じています。



## ガバナー補佐年度を振り返って

第4グループガバナー補佐 始関 信夫（市原 RC）

身の不明、不徳を痛感する一年でありました。ロータリーに入会以来35年を経過するもロータリーの何たるかを語るなど到底できず忸怩たる思いであります。一つの拠り所といえば「決議23-24」の理念に照らし合わせ、熟読玩味しながらの日々でありました。そのロータリーの基本理念を表した「決議23-34」が発表されて丁度100年を迎える年度にガバナー補佐を拝命し感慨深いものがございます。

時代の変遷とともに価値観も変化することは歴史が教える必然ですが、新世紀年代に成人を迎えるミレニアル世代とZ世代が世の中の主流となる時代をまもなく迎えるとき、ロータリーにおいてもその変化に抗することは出来ません。

各クラブにおいても変化に対応すべく積極的に行動しなければクラブの継続、発展は望めません。その原動力となるのは若い会員の創造性と行動力に期待するところでもあります。

第4グループは地区とクラブの情報を共有しクラブ運営に反映させるため、毎月クラブ幹事と合同会議を開催します。幹事の皆さんは若く有能な方々ば

かりです。その若いロータリアンに会議を通じロータリーの理念と目的をしっかりと伝えられたかは甚だ疑問であります。

幸い鶴沢ガバナーがクラブを訪問し、卓話された内容はロータリーの神髄をとらえ、クラブ運営の方向性とヒントを与えるわかりやすい示唆に富んだ話で、さぞや会員諸氏の心に響き、ロータリアンとしての誇りを改めて自覚させてくれた素晴らしい内容であり、第4グループのこれからのロータリー活動に希望を与えてくれたことと思います。

私事で恐縮ですが「小人閑居して不善をなす」という言葉がありますが、先輩ロータリアンの紹介により入会させてもらい、様々なロータリアンとの邂逅がなければ今のわたくしは存在しませんでした。ロータリーは多様で善良な人の集まりであり、そこでの出会いは何物にも代えがたい場でありました。また、生涯を通じた友情をはぐくむ場でもあります。

今回ガバナー補佐という立場でグループの若い会員の方々はじめ、多くのロータリアンに出会い、その結果多くの友人が出来ましたことに紙面をお借りし感謝申し上げる次第であります。



## ガバナー補佐一年間を振り返って

第5グループガバナー補佐 野村 進一（上総 RC）

2023-24年度、地区スローガン「エンゲージメントを育もう」良い響きの基に鵜沢年度が終わろうとしています。第5グループの主な行事を振り返りますと、10月12日(木)に情報研修会をかずさアカデミアホールにて開催、寺嶋哲生ラーニングファシリテーターからは、「ロータリーの変遷について」、水嶋陽子地区DEI推進委員長からはDEI(多様性、公平性、包摂性)を備えたクラブの活性化について学びました。

12月2日(土)第5グループ奉仕プロジェクト、「鋸山を日本遺産へ」応援プロジェクトを企画、来年度の日本遺産認定に向け千葉県を始め、袖ヶ浦・木更津・君津・富津市等14団体の後援の基、地区環境委員会による、鋸山周辺クリーン活動(250名)、鋸山美術館鈴木祐士氏による基調講演(120名)、生ライブ(100名)、花火打ち上げ(約5000名)と地域上げての応援が新聞、テレビ取材にも取り上げられ、活動が文化庁にも届いたと確信しています。

2024年3月2日(土)インターシティミーティングをかずさアカデミア大ホールにて開催、今年度は「ロータリー、地域そして世界で良いことをしよう」をテーマに、ロータリー会員を始め、地域の多くの人々にも誰でも参加出来る公開講演会として、第1部では、ユニセフ・アジア親善大使としてご活躍のアグネス・チャンさんを講師にお迎えして、「みんな地球に生きる人・未来を担う子供を育てる」をテーマに、世界各地で起こっている紛争の悲惨さに触

れ、実体験を通じて人間としての生き方、歩むべき道について講演いただきました。

第2部では日本製鉄君津吹奏楽団によるスプリングコンサートで会場を魅了、その様子は千葉テレビ放送番組やJ:COM放送、そして千葉日報にも掲載され、これからの地域にとって大変励みになります。第3部は会員交流懇親会、多くの方々が残ってくださり大いに親睦を深めることが出来ました。会員から、地域を巻き込んだ新しいIMが提案されたのご意見をいただきました。

5月14日、恒例の親睦ゴルフ大会がザ・カントリージャパンに於いて開催をされ、多くの会員の参加がありました。

そして、各クラブからは、「ロータリークラブらしさに触れる」(木更津RC)、「ロータリーを楽しもう」(木更津東RC)、「変化と希望を未来に」(君津RC)、「全員参加の奉仕活動を」(袖ヶ浦RC)、「寛容の心で、ロータリーを楽しもう」(富津中央RC)、「楽しもう～Let's enjoy～」(富津シティRC)、「第5グループの活性化を」(上総RC)をテーマに一年間活動を行い、その様子を「第5グループ通信」として5回発行、メールにて情報を共有出来るようにしました。

少ない会員のホストクラブでの1年間、グループ幹事を始め、各クラブ会長、幹事、事務局、そして関係する全ての皆様に感謝すると共に、1年間、無事終了出来ましたことに御礼申しあげます。ありがとうございました。



## ガバナー補佐を経験して

第6グループガバナー補佐 手塚 節（鋸南 RC）

「Bring up Engagement」地区のスローガン、そして、グループ内のテーマ「繋がろう」を意識しながら、常に緊張感を持って過ごして来ました。自分なりに多少の勉強はしていたものの、十分な知識のないまま年度が始まって良いものか、不安に思いながらもその思いを払拭させてくれたのが、鵜沢ガバナーご提案で、年度が始まる前からのガバナー補佐の皆さんを3分割したチームミーティングでした。テーマに沿ったラーニングで、それぞれのグループガバナー補佐の持つお考えを共有出来た事です。チームミーティングは、回数を重ねるごとに、私にとって、とても勉強になりました。数回チーム替えを行って、最終的には、地区内全ての補佐の皆様と仲良く交流をさせて頂きました。これを糧に、自信を持ってクラ

ブ訪問へ行こう。ただ、次なる試練は、補佐が主催するクラブ協議会でした。初めての経験で手探り状態のまま。ただ、始めてみれば、各クラブの皆様はこんな私でも、いつも笑顔で温かく迎え入れてくださいました。会員の皆様の自クラブへの愛着や誇り、ロータリーの友情や個々のコミュニケーション力の高さを強く感じる事が出来ました。グループ内のクラブの皆様は、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。この年度が終わり2024-25年度が始まると、私自身の30年目のロータリーライフが始まります。補佐をさせて頂いたこの経験を忘れずに、自クラブ仲間や年度を共にしたグループ内の会長・幹事さん、地区委員の皆様や地区内のロータリアンの皆様とのコミュニケーションを大切にしながら、これから訪れる新しい形のロータリーライフを楽しみたいと思います。





## 残り…1か月

第7グループガバナー補佐 諏訪 武士 (大多喜 RC)

前年度より始まった事実上1年半に渡る任期もあと少し。2回目の慣れでと受けたもののクラブへの訪問回数、会議数などが前回は上回り、会議時間に至っては毎回倍以上。睡魔との激戦は4月13日に終戦を迎えました。残念なことに所属クラブの公式訪問では気の緩みから睡魔との戦いに敗戦。ガバナー卓話に麩のBGMを添える粗相となり、鶴沢ガバナーには心からお詫びを申し上げます。そして早急に記憶の彼方に追いやって頂きたい。

そんなこんなで、あと1か月余り、年度を通して感じた事、これから考えねばならない事も数あれど、とにかくご支援・ご協力をいただいたグループ内クラブには御礼を申し上げます。5月、6月に御礼参りの訪問をさせていただきます。そして、最年少の私が申し上げるのもどうかと思いますが、同期AGのお人柄に恵まれた任期であったことに感謝をいたします。

今後も地域リーダーのお一人として活躍を続けられる鶴沢ガバナーのAGとして過ごした任期が、ロータリー人生の大きな糧となることは間違いないと考えております。

物価上昇、賃金格差をはじめ社会を直面する問題は数多く事実上貧困国となった現状、またボランティア、寄付、人助けからなる人助け指数では114国中総合ダントツ最下位の日本。国内社会、地域社会共にロータリークラブの活動がさらに必要となり、社会的な役割に対する期待も大きくなるものと考えるところです。次年度以降もAGとしての経験を活かし、クラブ、グループの発展に寄与できるよう精進させていただきます。

最後にガバナー事務所の皆様はじめ、地区チームの皆様へ感謝と、今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。今期の御礼に代えさせていただきます。ありがとうございました。



## 感謝の1年間

第8グループガバナー補佐 網中 吉郎 (銚子東 RC)

一昨年の9月に始まった顔合わせ会からの準備期間も含めて1年10ヶ月に及ぶガバナー補佐としての任期も間もなく終わろうとしています。

昨年の8月20日、地区ポリオデーとして千葉市親子三代夏祭りに八日市場クラブのお雛子の皆様と一緒に参加させて頂いたことは、当日の酷暑と共に鮮烈な思い出として残っています。

又、皆と共にタキシードで出席した10月の地区大会での晩餐会では、寺嶋哲生DLFから三幅の「虎の江戸絵画」の展示解説もあり、今までにない大変楽しい時間でした。

寺嶋DLFに「私の思うロータリー」という基調講演をして頂いたロータリー情報研修会、元大塚家具代表の大塚久美子氏の「サステナブル経営時代の事業承継」という講演のインターシティ・ミーティング、ゴルフ経験のない私を皆で助け設営して

くれたグループゴルフ大会、どれをとっても会員の皆様のご協力がなければ成し得なかったことです。感謝しかありません。

鶴沢ガバナーの方針により今年度のクラブ協議会は100%ガバナー補佐に任されることになり、その責任の重さに当初は大いに戸惑ったものでした。大きな不安を抱えていた私を力付けてくれたのは、鶴沢ガバナーの「やり遂げなくてもやり切れればよい」という言葉でした。

自分のできることを精一杯やり切れればよいと覚悟を決め、積極的に各クラブに関わるように努めました。そのような私を各クラブの皆様は温かく受け入れてくださり、ロータリーの友情を肌で感じる事ができました。

隔月で開催されたガバナー補佐チームミーティングも補佐同士の絆が深まり、私にはとても大きな助けになりました。すべてに感謝する1年間でした。



## 1年を振り返って

第9グループガバナー補佐 那須 哲郎 (佐原香取 RC)

ガバナー補佐としてあっという間に1年を迎えようとしていますが凄く短かった様に感じております。ガバナー補佐会議は各地区委員長との合同で行われたものとガバナー補佐をグループ分けした少人数で開催されたものとありました。私個人にとって、チームミーティングは細かな先の指針にも役立ち疑問に質問をし易く、同期のガバナー補佐間での親睦も深められ、得難い時間を楽しく過ごす事が出来ました。と同時に、己の未熟さから補佐としてやり残した事、もっと違うやり方、形、様々な後悔と心残りもまた多くあります。しかしガバナー補佐として過ごさせていただきましたこの貴重な時間は勉強し研鑽を積む事も出来たと思っております。

多古RC、小見川RCの合同で行われたガバナー公式訪問の際、親睦会に参加させていただきました。ガバナーとの懇談会から「手に手つないで」ま

でとても和やかで楽しいひと時を過ごさせていただきました事を心より感謝申し上げます。例年とはひと味違う素敵なガバナー公式訪問でした。

ゴルフ会では「桜満開の下で楽しみましょう」とご案内をしたのですが当日は寒く未だ桜は開花せず更に強風と大雨でスタートはしたもののあまりの辛さに午前ハーフで打ち切りという大失敗で誠に残念でなりません。その様な時でも周囲のロータリアンの皆様から優しいお言葉を賜り心折れる事なく終えられました。いたらないガバナー補佐ではありましたが今後のガバナー、ガバナー補佐の方々へ惜しみない協力と応援をしていきたいと感じた次第です。

またガバナー事務所の皆様におかれましては沢山のご迷惑をお掛けしました事を心よりお詫び申し上げます、多大なるサポートに心より感謝申し上げます。



## 育ての親はロータリー

第10グループガバナー補佐 鈴木 孝 (白井 RC)

ガバナー補佐顔合わせの時は私の様な者がガバナー補佐を出来るのであろうかと不安でいっぱいでした。鶴沢ガバナーはガバナー補佐の親睦や情報交換などを得る為にチームミーティングを開催しました。このミーティングにより各グループの現状を把握する事が出来、ガバナー補佐の活動に大変役立つ事が出来ました。各クラブのガバナー公式訪問に合わせてガバナー補佐訪問日の調整等を行い、会長幹事会の日程を決定したり情報研修会をどうするか補佐幹事と色々な打ち合わせをするなど忙しくも楽しい時間を過ごす事が出来ました。情報研修会では諸岡靖彦パストガバナーからRLIのプログラムに参加する事で自分自身のロータリー観が創られ世界が広がる事でロータリーがどんどん楽しくなる事の体験を基にお話しして頂きました。お陰様で白井RCの若手会員がRLIに参加するようになりま

した。ガバナー公式訪問では各クラブに合わせた様々な話を伺い改めて鶴沢ガバナーの引き出しの多さに感銘を受けました。IMでは会員増強・退会防止に力を入れたいという思いで、吉田理愛地区会員増強・退会防止委員長のロータリー愛について優しい話し方で感動された会員も多くいた様です。最後に第10グループで開催した6クラブ合同例会ではWBCヘッドコーチ白井一幸様の話に聞き入りロータリーのDEIにもつながる話は会員の皆様が感動している様子が良くわかるほどでした。この一年を通してロータリアンの皆様に育てて頂いた様な気が致します。寛容の気持ちで接して頂き誠に有難う御座いました。私の目標とするあんな人になりたいと言われるロータリアンに半歩ぐらい近づけたような気がします。至らぬガバナー補佐の神輿を担いで頂いた皆様に感謝しております。





## ガバナー補佐一年を振り返って

第11グループガバナー補佐 中山 浩一 (柏 RC)

2022年9月10日の顔合わせ会から2023-24年度はスタートしました。

これまで地区の活動には全く参加してこなかった私としては非常に緊張した顔合わせ会でした。

鶴沢ガバナーとはこの時が初めての顔合わせ、低い声と強面の風貌(申し訳ございません第一印象だけであります。)は否応にもプレッシャーを増幅したものでありました。

地区内14グループの各ガバナー補佐は私よりロータリー歴が長い方が多く、皆さんお話もお上手でかつ様々なグループの現状などを伺う度、所属クラブでは古株になってしまった私にとって、ガバナー補佐会議、チームミーティングは毎回勉強になり、我が第11グループの環境が恵まれているものと再確認いたしました。

鶴沢ガバナーはガバナー補佐の役割を明確に示され、各クラブ訪問でも年度初めに各クラブ会長が示した目標の点検・確認に専念することができました。

そして、ガバナー公式訪問時の懇談会ではクラブ報告書に基づいた各クラブの会長・会長エレクトへの的確なアドバイスがあり、会長・会長エレクトも納得のいく懇談会であったと思います。

ガバナー補佐会議・チームミーティング・ガバナー公式訪問が最も思い出深いものであります。

振り返ってみれば、あっという間に過ぎ去った1年でしたが、私なりにやり切った感がある充実した1年でありました。様々ご協力いただいたグループ内全ロータリアンそして、お助けいただいたガバナー事務所の皆様にも厚く御礼申し上げ振り返りとさせていただきます。改めてありがとうございました。



## ロータリーの友情に感謝

第12グループガバナー補佐 實川 正道 (佐倉 RC)

2022年9月の初顔合わせから早いもので1年半が経ち、任期も残りわずかとなりました。私の役割はガ

バナー補佐として、第12グループ内の7クラブを定期的に訪問し地区の方針を伝えると同時に、各クラブの課題解決や目標達成に向けた助言や指導を行うことです。振り返りますと、どのクラブも私を温かく迎え入れてくださり逆に多くの学びをいただいたように思います。鶴沢ガバナーの地区スローガンである「エンゲージメントを育もう」のもと、各クラブがクラブに対する帰属意識や貢献意欲を高め、クラブの活性化に少しでも貢献できましたならば幸いです。

11月の情報研修会では寒郡ガバナーエレクトを講師に迎え「DEI文化を培う」をテーマに、ロータリーにおけるDEIの重要性を啓発し認識を高めました。また、3月のインターシティミーティングでは第2710地区パストガバナーの吉原様を講師として「ロータリーと私」というテーマでロータリアンとして

の歩みや理念についてご講演いただきました。そして、4月のゴルフコンペでは第12グループ内の更なる親睦を深めました。

今年度はガバナー補佐会議の他に、14名のガバナー補佐をチーム別に分けて定期的に開催されたチームミーティングが情報交換や親睦を深める有意義な場となりました。また、地区大会の晩餐会ではタキシード着用ということになり、慌ててタキシードを作りに行ったことも楽しい思い出となりました。他にもシンガポールでの国際大会や様々な行事に参加し、多くのロータリアンとの出会いを通じて貴重な経験を積むことができ、私自身、ロータリーの素晴らしさを身をもって痛感した1年間でした。

最後に、鶴沢ガバナーはじめ大木幹事長、同期ガバナー補佐の皆様、第12グループの会長・幹事を始めとする会員の皆様、そして林ガバナー補佐幹事、佐倉ロータリークラブの皆様には大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。





## 一年半をふり返って 第13グループガバナー補佐 鈴木 悦朗 (松戸北 RC)

—昨年10月15日の第1回のガバナー補佐予定者会議から、早いもので一年半が経過いたしました。月1回のガバナー補佐会議、チームミーティング、会長幹事会、各クラブへの公式訪問、ロータリー情報研修会、IM、地区大会、大使館訪問ほか地区が取り組むさまざまなイベントや交流食事会への参加など、鶴沢ガバナーとご一緒する機会も多く、ロータリーの密度が濃い一年であったと思います。

鶴沢ガバナーは、地区を率いるガバナーとして、先人たちが100年の歴史の中で培ってきたロータリー奉仕の理念を学び、ロータリーの公共イメージが上がるようなスタイルにこだわり、さらに行動して、さまざまな行事で日経新聞の全面広告にあるような世間にインパクトを与える景色をつくってきたのではないかと思います。地区大会にしても元RI会長やRI理事等多くの役員を迎え、第2790地区のステー

ジを上げてくれたのではないかと思います。

早い時期からのガバナー補佐のチームミーティングというやり方は、飲みニケーションをしながらガバナーとガバナー補佐、ガバナー補佐同士の意見交換をスムーズにしてくれました。会長・幹事会もそんなフラットな感じを大切にして運営させていただきました。奉仕の理念を学ぶことばかりで終わってしまって、奉仕の実践が疎かになっている。まずは意見を交換し合って行動しよう。そんな積極的な議論がされていました。

ガバナー補佐の務めが終わるまで残り僅かとなりました。鶴沢ガバナーをはじめ、各グループガバナー補佐、地区委員会、ガバナー事務所の皆さん、グループの会長、幹事、ガバナー補佐幹事、各クラブの皆さん、大変お世話になりました。ありがとうございました。



## エンゲージメントが育めました 第14グループガバナー補佐 岩佐 祥一 (流山中央 RC)

昨年、クラブで次年度ガバナー補佐が決まらず、締切り間際で仮に私の名前でエントリーすることになりました。「仮なんてありえない。私がガバナー補佐になるのだな」と確信しました。中学以来いつもそう、難しい、面倒くさい、大変な役は私に回ってきた。でも、嫌ではなかった。なぜなら役を受けることにより新たな出会い、経験や知識が得られたから。今回もそうでした。

私以外のガバナー補佐の皆様はロータリー歴が長く、経験豊富で、私が困ったときには様々なアドバイスをいただきました。

知識と経験が浅い分は運動量でカバーと様々な地区の事業に参加しました。そこでも新しい出会い、多くの学びがありました。そして地区の事業に参加

してロータリーは素晴らしいということが実感できました。様々な場面で会員の努力、苦労、工夫があることが感じられました。きっとこうして事業に参加することでエンゲージメントが育まれていくのでしょう。

鶴沢ガバナー、大木幹事長はじめ幹事団の皆様、地区委員会の皆様にも大変お世話になりました。鶴沢ガバナーから承ったグループをガバナーに代わって指導するという役割は全うできたか疑問ではありますが、RI、地区、第14グループ内の各クラブを知ることでわかったことはお伝えできたと考えております。

第14グループの皆様には不出来なガバナー補佐ではありましたがおおらかに見ていただき、ご協力いただきましたこと感謝に堪えません。

1年間、本当にありがとうございました。



## 一年を振り返って

地区管理運営統括委員会 委員長 佐々木 高治 (千葉 RC)

一年があつという間で、振り返れば、鶴沢ガバナーからの一本の電話で管理運営統括委員長を引き受けることになりました。当初は予期せぬ担当でしたが、その場でお引き受けしました。副委員長には大倉・亀田両氏を迎え、頼りになるメンバーでスタートしました。委員会が多い管理運営部門ではありますが、総勢30名のメンバーで力を合わせて取り組みました。

各委員会の活動報告です。まずはDEI推進委員会から。この委員会は新設されたばかりでしたが、水嶋委員長を中心にメンバーが協力し、少ない情報のなかからプレゼン資料に取り組みました。かなり苦勞したようですが、いくつもの卓話依頼を(クラブ、IM、情報研修会)無事に終えてくれました。次に会員増強・退会防止委員会。吉田委員長を中心に、クラブ卓話やIMでの講師を務めていただきました。また、広報・公共イメージ向上委員会では松永委員長を中心に、効果的なPR活動を行い、BAYFMでの広報それに親子三代夏祭りでの広報活動は、ロータリー研究会でRI会長賞を獲得しています。この5月にはR財団委員会と協力しポリオ根絶祈願チャリティーゴルフコンペを盛大に開催し多くの成果を上げました。フェロシップ・親睦活動委員会の佐野委員長は、新たな試みとして、シ

ンガポール大使館、ポーランド大使館、パキスタン大使館を訪問しました。ポーランド大使とはウクライナチャリティーコンサートを、パキスタン大使とは、アジアの祭典チャリティーバザーに協力、6月には管理運営統括委員会とR財団委員会が協力しておこなうセミナーに大使ご夫妻をお迎えいたします。我々が世界平和を願って活動していることを知らしめ、国際的な交流を深めました。My ROTARY登録推進委員会では池田委員長の奮闘もあり、当地区会員の過半数がMy ROTARYの登録を終え、鶴沢ガバナーが目指す60%の登録率まであと一步のところまで迫っております。

全委員会で11月には「管理運営委員会セミナー」を開催し、さまざまな議論を行いました。地区のRLI推進委員会の清田委員長に協力を仰ぎ、研修からラーニングへの呼びかけに応え参加者の学びの場を提供しました。

そして集大成ともいえる6月のセミナーに向けて現在準備を進めています。

一年間、皆さんと共に活動できたことを心から感謝しています。大倉・亀田両副委員長、そして全メンバーの皆様、本当にありがとうございました。

これからも第2790地区のクラブ活性化に向けて、一層の活動を期待しています。



## 一年を振り返って

地区奉仕プロジェクト統括委員会 委員長 水野 晋治 (柏西 RC)

今年度の委員会は2022年10月頃より組織づくりから始まりました。今思い起こすと長い道のりでした。

当初の構想全ての活動は実施できませんでしたが、いくつか思い出に残るプロジェクトを担当委員会の方々にご尽力いただき実施することができました。環境委員会による第5グループとの共同の「鋸山を日本遺産に」においては鶴沢ガバナーにもご参加いただき、約100名の参加者と共にごみ拾いを実施しました。セミナーや花火も上がり、思い出に残る一日となりました。

今年3月には青少年奉仕委員会により「希望の風チャリティーコンサート」を開催していただき、多くの方々と共に、希望の風への継続的な支援の大切さについて考えていただけの機会を提供することができました。2日後には館山市「沖ノ島森の再生プロジェクト」も実施していただきました。100名を超える地区内メンバーやお子さん、他地区からもご参加いただき沖ノ島の豊かな自然に触れながら、森の再生の一助となるような活動を行いました。このプロジェクトへも鶴沢ガバナーはお孫さんと一緒にご参加いただきました。これは本当に嬉しい事でした。

その他には、担当委員長がモンゴルまで視察に行き、プロジェクト実現への調査をしていただきましたが、こちらの方は準備や調査などに時間がかかることから今年度での実施は叶いませんでした。来年度以降に期待したい

と思います。

セミナーについては、9月の奉仕プロジェクトセミナー、3月に国際奉仕委員会によるTSUNAGU2790をテーマにした国際奉仕セミナーの開催など多くのクラブからの参加をいただきセミナーを開催する事ができました。

また、特に思い出に残る出来事としては、地区大会において「希望の風」支援について委員会総出でPRと募金を行い、316,656円もの寄付金が集まりました。また、チャリティーコンサートでは425,800円もの寄付金をお預かりし、ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会へ送金する事ができました。震災より13年が経ち、徐々に支援への意識が薄れていく中、改めて継続的な支援の大切さを考えていただく機会を作れたことは大変嬉しいことです。

また、今年度委員会では一年を通じて地区補助金の選考に対し、プロジェクトの効果などを評価していく仕組みづくりに時間をかけ議論を重ねてきました。最終的には、ロータリーの行動計画の中の優先事項を基に12個の評価項目を設け、点数化するシステムを作りました。この評価システムはTRFのルールによって決まっている地区補助金の支給可能額に対しクラブからの補助金申請が超過した場合、一部削減などの際に目安となる評価システムとなっております。来年度以降も改善の余地はあるかと思いますが、継承されていくことを期待したいと思います。

最後に鶴沢ガバナー年度にて委員長を務められた事に感謝申し上げます。





## 一年を振り返って

地区青少年プロジェクト統括委員会 委員長 藤崎 泰裕 (千葉西 RC)

2023-24年度青少年プロジェクト統括委員会では青少年を対象に三委員会の活動を推進してまいりました。

また、ローターアクトクラブ拡大委員会と共に、エンゲージメント向上のため、正副委員長を輩出しているクラブの地、佐倉・柏・八千代・四街道・成田を巡り委員会を開催し、多くのロータリアンにご協力をいただきました。

特に寺嶋哲生地区ラーニングファシリテーター、各グループ担当ガバナー補佐の皆さま、そして各会長幹事の皆さま、ならびにガバナー補佐担当幹事さまには大変お世話になりありがとうございました。

5クラブですが各地を巡り直接会長幹事の皆さまとお話をして各委員会活動をご理解いただきました。

インターアクト委員会は、インターアクトクラブ12歳～18歳の中学校1校・高校13校を対象に年次大会・国外研修・指導者講習会を実施いたしました(残念なことに中学校ではまだ部員がいません)。青少年交換委員会は、長期交換派遣生8名ならびに短期交換派遣生1名を7カ国のRCと交渉し合い交換派遣への準備が整いました。インバウンドと派遣生ならびにローテックスとのコミュニケーションツールとしてスプリングキャンプを日本の文化に親しんで貰うため金沢にて実施いたしました。

RYLA委員会は「リーダーシップは未来を描く」と銘打って21世紀リーダーシップセミナーを開催いたし、第2回全国RYLA運営委員会にて歩行ラリーを全国へPRいたしました。

各委員会とも大きなプロジェクトを抱え、一年間の

活動が無事終了しようとしておりますが来年度以降参加される青少年のために本年度初めて地区補助金へ三委員会とも申請をいたしました。今後地区補助金を活用することによって青少年への負担が軽減されることと思います。

地区の委員会は数名で大きなプロジェクトを実施していますので委員長のリーダーシップならびに毎月わたる綿密な委員会やオリエンテーションの開催が必要です。

また日本各地で国際ロータリー日本青少年交換研究会・全国RYLA研究会・全国インターアクト研究会などが開催されていますので参加してみるのも良いと思われます。

これからも各委員会には青少年の未来のために「安心・安全」を志していただきたいと思います。

今日本のロータリークラブは危機を迎えていると思います。高齢化と会員減少、IT化の遅れもその要因だと思います。

持続的なクラブ運営には他クラブとの共働、また多くの外部のNGO、NPOさらにJRCとの協働も考えなくてはならないのかもしれませんが。

青少年のプロジェクトは未来への投資と言われています。当地区で行われるプロジェクトに参加された青少年たちが近い将来ローターアクターやロータリアンになる日を夢見て一年間の総括とさせていただきます。ありがとうございました。





## 1年を振り返って

地区ロータリー財団統括委員会 委員長 漆原 摂子 (勝浦 RC)

地区ロータリー財団統括委員長は、RIより、パストガバナーの就任並びに3年間の継続が奨励されています。私は今年度は2年目で、寒郡ガバナー年度が最後のご奉公となります。

当委員会は、財団という多岐にわたるプログラムへの知識理解の共有を図るため、毎月1回、ハイブリッド形式で全委員会を招集し、会議を開催しております。統括部門の宮川光生委員には、毎月の会議案内の配信、また会議当日のZOOMご担当など、技術面でのサポートをいただきまして、大変助かりました。

財団資金管理・寄付推進委員会の荒井光江委員長は、毎月の地区内寄付状況の確認とクラブオール配信、更には寄付ゼロクラブをゼロにという目標のもと、ガバナー補佐を巻き込んで、クラブの寄付促進に尽力されました。

グローバル補助金プロジェクト委員会の栗原洋一委員長は、幾度となく委員会を招聘し、知識や情報の共有に取り組まれました。併せて、クラブから申請があれば年中受付可能である補助金申請に備え、潜在的に補助金申請を予定している地区内クラブの調査も実施されました。

地区補助金プロジェクト委員会の富一美委員長も、委員会での勉強会を数回開催され、クラブからの補助金申請内容のチェックポイントを確認するとともに、奉仕プロジェクト統括委員会に委託する各プロジェクトの内容精査の共有を図りました。

奨学生・学友委員会の藤崎康人委員長は、

前年度派遣の奨学生のレポートや最終報告書の確認に加え、次年度派遣候補生の選考会の開催、また選考された候補生のオリエンテーションの実施等々、年度をまたぐこの事業に細やかに対応されました。

ロータリーポリオプラス委員会の永野知英委員長は、昨年8月、千葉市内クラブが中心となって参加する親子3代夏祭りに、ポリオデーに合わせた地区主導イベントとしてロータリーファミリー総出の参加を促し、一般市民に大きなインパクトを与えました。更にはポリオ根絶祈願チャリティーゴルフコンペも企画、ポリオプラス基金へのリマインドとなったでしょう。

ロータリー平和フェロウシップ委員会の松丸隆一委員長は、カウンセラーと協力し、現在来日中の2名のフェローが勉強に集中出来、また日本文化に触れる機会が得られるよう、サポートをしていただきました。

特筆すべきは、昨秋開催されたロータリー研究会で、松永達人広報・公共イメージ向上委員長撮影の写真がRI会長賞を受賞したことです。またちょうどこの月信が配信される6月1日には、当地区有志が初めてまとまってパキスタンに渡航して行ったポリオ経口ワクチン投与活動の報告会が開催されます。多くの会員の皆様が、ロータリーの最優先事項であるポリオ根絶、そして7つの重点分野に即した奉仕活動を更に活発に実施され、クラブの活性化に繋がることを願うばかりです。





## 「2023学年度奨学生終了式・歓送会報告」と 「1年を振り返って」

地区米山記念奨学委員会 委員長 富山 保昭 (千葉幕張 RC)

2024年3月30日(土)、三井ガーデンホテル千葉において、2023-24年度国際ロータリー第2790地区の各クラブのカウンセラー、奨学生、学友会、ロータリー関係者にお集まりいただき、2023学年度の奨学生終了式・歓送会を開催いたしました。

当日は、奨学生終了者21名、カウンセラー21名、現役奨学生7名、学友会5名、ロータリー関係者17名、合計71名に出席いただき、2部構成で実施しました。

第1部の終了式では、奨学生の終了証であるサティフィケートが鶴沢ガバナーより終了生代表の玄香花さん(世話クラブ:木更津東RC)に授与されました。続いて、鶴沢ガバナーより祝辞を頂戴し、さらに来賓の公益財団法人ロータリー米山記念奨学会の宇佐見次年度理事、時田ガバナーノミニエ、グエン・ビック・フォン米山学友会会長各氏よりお祝いのお言葉をいただきました。

そのあと、世話クラブのカウンセラーへの感謝状贈呈に移り、鶴沢ガバナーより21名のカウンセラーの皆様へ労いの言葉とともに感謝状が贈呈されました。続いてカウンセラー代表として、成田コスモポリタンRCの藤崎カウンセラーより奨学生と共に歩んだ2年間の思い出を語っていただきました。

送辞は現役奨学生代表として、イ・ジュンウォンさん(世話クラブ:船橋西RC)から終了生に向けて、奨学生は民間外交の役割を果たすことが世界平和の種になるという素晴らしいメッセージを送っていただきました。

終了生からは、代表して玄香花さんに答辞を述べていただき、2年間の奨学生生活を振り返り、世話クラブや米山奨学委員会のロータリアンメンバーとの様々な交流の思い出と感謝の言葉をいただきました。

第2部では、歓送会として、各クラブの奨学生とカウンセラーと一緒に壇上に上がっていただき、各自の奨学生としての振り返りとカウンセラーとの交流等をお話いただきました。また学友会から入会の案内があり、今回終了生全員が学友会に入会するという初めてのケースとなりました。

米山奨学委員会での1年を振り返りますと、4月のオリエンテーションから始まり、5月、6月の奨学生卓話研修会、そして8月の第3回学友会世界大会で、つくばの地に1,200名もの学友、奨学生、ロータリアンが集まり、交流できたのが大きな思い出です。

米山奨学事業に対して多大なるご支援、ご協力を賜りましたロータリアンの皆様へ感謝申し上げます。







## 1年を振り返って

ローターアクト拡大委員会 委員長 中澤 良夫 (四街道 RC)

早くも一年が経とうとしており時間は飛んで行くという言葉を実感します。

国際ロータリーは2019年の規定審議会にてローターアクトクラブをそれまでのロータリー青少年プログラムから国際ロータリーの加盟クラブへと立場を変え、ロータリークラブと同じ立ち位置としました。

橋岡年度、青少年奉仕統括委員長を拝命し、新ローターアクトクラブの設立を進めていた私は驚きと戸惑いを感じた事を記憶しています。

インターアクトクラブやRYLAセミナーを経験した若者にローターアクトの魅力伝えてローターアクトクラブの会員となってもらう勧誘も順調に進んでおり、併せて当時の橋岡ガバナーが音頭を取って設立した佐倉中央ローターアクトクラブ、現ガバナーの鶴沢さんが音頭を取って設立した千葉マリンローターアクトクラブ、青少年奉仕に熱心な鴨川ロータリークラブが設立した鴨川ローターアクトクラブという三つの新クラブが産声を上げ、順調に発展するのだろうと思いました。

しかし同時期に始まったコロナ禍により各委員会の活動が縮小すると、それまでの良い循環が止まり会員の減少がおき、クラブが休止状態となる場面さえ出てきました。

ようやく平常に活動できるようになった頃には会員数41名まで減っていました。

今年度の第一回地区委員長会議にて私は『ローターアクターを倍増したい』と所信表明した際、鶴沢ガバナーより『倍ではなく5倍』との声援を頂き、どのようにしてローターアクトを増強していくか

地区委員やアクト幹部と会議を重ねていきました。

結果、ローターアクトクラブの知名度が低い、ロータリアンの中でも知名度が低いとの問題点が有ったため、まずは第2790地区内ロータリアンに直面する事を実施しました。

アクト各自の名刺を多く用意して三大セミナーや地区行事の際、多くのロータリアンに挨拶しアクトを知って頂く事に注力しました。

7月には全アクトを対象にして新たな立場としてのローターアクト研修会を行い、今後のローターアクトを考えてもらいました。

8月には途切れているインターアクトクラブとの交流を繋ぐため地区インターアクト年次大会に出席しローターアクトクラブのPRを行いました。

10月には札幌市での第一エリア代表者会議に出席して各地区の現状や問題点を共有しました。

今年に入り、今後のローターアクト行事にロータリアンが普通に参加することを実現すべく、3月のローターアクト運動会では参加案内書をクラブオールで発信しました。

第1グループの山下ガバナー補佐、第14グループの岩佐ガバナー補佐はじめ多くのロータリアンに参加頂き盛会となりました。

4月には関東ブロック研修会が第2790地区をホストとして開催しロータリアンにも多数出席頂きました。

6月8日(土)にはTKP幕張にてローターアクト年次大会を開催致しますので多くのロータリアンに参加頂けますようお願い申し上げます。

卓話要請いただきました多数のクラブ、IMや情報研修会にお呼び頂いたグループ、応援頂いた全てのロータリアンに感謝申し上げます。

# 創立60周年記念例会・記念式典・祝賀会報告



## 第4グループ 千葉南ロータリークラブ 会長 水野 浩利



2024年4月20日に千葉南ロータリークラブ創立60周年記念例会・式典・祝賀会をオークラ千葉ホテルにおいて230名を超える参加者にて開催させていただきました。

まず当クラブの歴史をご紹介しますと、千葉南ロータリークラブは、東京オリンピックの開催された1964年の1月10日に創立総会を開き、同年3月2日に国際ロータリーの正式な一員として加盟承認され、千葉ロータリークラブの子クラブとして千葉市内で2番目に創立されました。創立に当たりましては、スポンサークラブ千葉ロータリークラブのご指導と甚大なるご尽力があったとお聞きしております。同年12月5日に認証状伝達式が挙行されましたので、60年を経過いたしました。

初代会長の田谷一氏は、「仲良く、楽しく、みんなでやろう!」という言葉テーマとされ、活動を開始いたしました。

千葉南ロータリークラブ創立60周年記念式典を挙行できますことは、公私共にお世話を頂きました

ご来賓各位をはじめ、先輩クラブのご指導、歴代会長のご努力、全ロータリアンの皆様の熱心なご指導と友情あふれるご援助によるものであると感謝致します。当クラブは、26名のチャーターメンバーで設立をし、増減は多い時で98名、最小で34名になった時もありました。そこで今年度はメンバー数を「60周年を60名の会員で迎えよう」という目標を掲げ、全会員が会員増強に英知と努力を注いだ結果、ここに62名の会員数を達成することが出来ました。

当日の懇親会のテーマを「道」とし、様々な職種の集まりであるロータリアンの力で出来るだけ手作りで、我々が歩んできた60年間「ロータリー道(どう)」を振り返る記念映像、また日本人が歩んできた「書道」「剣道」「武士道」をメンバーが演武し、最後に「装道」をフィンランドからの元奨学生及び、メンバーのご家族12名が素敵な着物姿をご披露頂き華やかに終わることが出来ました。

最後に開催に際しましては、大変お忙しい週末に、ご参加いただきましたご来賓の皆様、各クラブの会員の皆様に感謝申し上げます周年事業の報告とさせていただきます。



活弁士



空手



剣道



書道



水野会長夫妻



和装



集合全体





# My ROTARY 登録状況報告 (2024年5月16日現在)

My ROTARY 登録推進委員会 委員長 池田勝之 (千葉 RC)

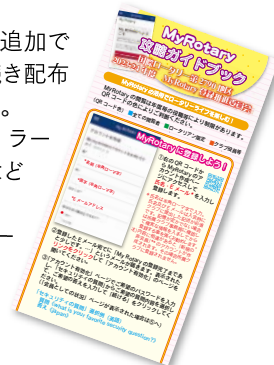
**50.19%**

My ROTARY 登録推進委員会より5月16日現在の各クラブの登録率をご報告申し上げます。  
 皆様のご協力により、地区の登録率が微増の50.19%となりました。5月は時期的にも転勤等により各クラブの会員数の変動が著しく、それに伴いMyRotaryの登録率も変動しているようです。  
 本年度も残り少なくなり60%の目標達成まで改めて気を引き締めて参りたいと思いますので、引き続きご協力をお願い申し上げます。

グループ	クラブ名	会員数	登録者数	登録率 (%)
第1グループ	市川川	38	12	31.58%
	市川東	35	6	17.14%
	市川南	21	6	28.57%
	浦安	29	13	44.83%
	市川シビック	27	3	11.11%
	浦安ベイ	13	7	53.85%
	平均			31.18%
第2グループ	船橋橋	27	13	48.15%
	船橋西	23	10	43.48%
	鎌ヶ谷	29	6	20.69%
	船橋東	22	8	36.36%
	船橋南	12	7	58.33%
	船橋みなと	15	5	33.33%
	平均			40.06%
第3グループ	千葉葉	122	120	98.36%
	新千葉	58	55	94.83%
	千葉西	44	44	100.00%
	千葉中央	25	25	100.00%
	千葉幕張	30	30	100.00%
	千葉東	24	24	100.00%
	千葉若潮	32	32	100.00%
	平均			99.03%
第4グループ	千葉南	62	23	37.10%
	市原原	77	23	29.87%
	千葉港	25	15	60.00%
	市原中央	34	13	38.24%
	千葉北	26	26	100.00%
	千葉緑	23	9	39.13%
	平均			50.72%
第5グループ	木更津	25	5	20.00%
	上総	16	16	100.00%
	富津中央	37	13	35.14%
	木更津東	43	27	62.79%
	君津	56	55	98.21%
	袖ヶ浦	22	11	50.00%
富津シティ	16	9	56.25%	
	平均			60.34%
第6グループ	館山	45	10	22.22%
	鴨川	28	15	53.57%
	勝浦	37	21	56.76%
	千倉	8	1	12.50%
	鋸南	14	9	64.29%
	館山ベイ	27	8	29.63%
	平均			39.83%
第7グループ	茂原	59	20	33.90%
	東金	26	9	34.62%
	大原	10	10	100.00%
	大多喜	8	4	50.00%
	成田空港南	23	8	34.78%
	茂原中央	26	13	50.00%
	大網	31	16	51.61%
東金ビュー	10	9	90.00%	
	平均			55.61%

グループ	クラブ名	会員数	登録者数	登録率 (%)
第8グループ	銚子	31	12	38.71%
	旭	37	8	21.62%
	八日市場	36	11	30.56%
	銚子東	28	2	7.14%
	平均			24.51%
第9グループ	佐原	45	12	26.67%
	多古	17	13	76.47%
	小見川	24	12	50.00%
	佐原香取	22	10	45.45%
	平均			49.65%
第10グループ	成田	73	25	34.25%
	八街	23	16	69.57%
	印西	8	4	50.00%
	白井	14	7	50.00%
	富里	35	10	28.57%
	成田コスモポリタン	69	36	52.17%
	平均			47.43%
第11グループ	柏	63	18	28.57%
	我孫子	33	16	48.48%
	柏西	56	28	50.00%
	柏東	33	6	18.18%
	柏南	29	16	55.17%
	平均			40.08%
第12グループ	習志野	27	14	51.85%
	八千代	54	53	98.15%
	佐倉	41	32	78.05%
	八千代中央	21	5	23.81%
	四街道	27	8	29.63%
	習志野中央	47	25	53.19%
	佐倉中央	13	9	69.23%
	平均			57.70%
第13グループ	松戸	53	15	28.30%
	松戸東	42	12	28.57%
	松戸北	37	15	40.54%
	松戸中央	40	9	22.50%
	松戸西	27	12	44.44%
	平均			32.87%
第14グループ	野田	65	24	36.92%
	流山	19	9	47.37%
	野田東	14	5	35.71%
	流山中央	20	7	35.00%
	野田セントラル	21	7	33.33%
	平均			37.67%

「My ROTARY 攻略ガイドブック」を追加ご希望のクラブやメンバーには引き続き配布しておりますので是非ご活用ください。  
 My ROTARY の登録方法をはじめ、ラーニングセンターやロータリーの歴史など My ROTARY の活用方法が満載！  
 各情報に直接アクセスできるQRコードも掲載しています。



寄付者紹介(敬称略)

ロータリー財団寄付

メジャードナー(財団)



梶原 等  
(千葉RC)

梶原等・由美子シェア基金設立



梶原 等  
(千葉RC)

新ポール・ハリス・フェロー



権名 利臣  
(八日市場RC)

米山功労者



飯生 高一郎  
(八千代RC)  
16回



佐々木 るみ子  
(柏東RC)  
7回・6回



石毛 園子  
(銚子東RC)  
4回



高橋 豊  
(千葉南RC)  
1回

新ロータリアン(敬称略)



武市 真実  
(柏東RC)  
薬局  
6月1日



三宅 理奈  
(柏東RC)  
建設・リフォーム  
2月1日



藤原 良行  
(柏RC)  
飲食業  
3月13日



佐久間 崇志  
(柏RC)  
請負建築  
3月13日



金森 靖宏  
(柏東RC)  
弁理士  
3月14日



布能 弘一  
(柏東RC)  
中小企業診断士  
3月14日



花谷 聡子  
(柏西RC)  
百貨店  
3月22日



星 忠利  
(新千葉RC)  
生命保険  
4月3日



中田 信一  
(新千葉RC)  
司法書士  
4月3日



菅野 彰  
(新千葉RC)  
損害保険  
4月3日



砂川 悠平  
(館山RC)  
証券業  
4月3日



北口 恵三  
(船橋西RC)  
証券業  
4月5日



松岡 靖  
(君津RC)  
貨物自動車運送  
4月8日



尾實 健  
(柏RC)  
総合職社員  
4月10日



田中 尚志  
(柏RC)  
情報サービス  
4月10日



仲村 眞一  
(柏RC)  
地方銀行  
4月10日



宮下 義人  
(習志野RC)  
銀行  
4月10日



武山 晃浩  
(館山ベイRC)  
証券業  
4月11日



片桐 刻  
(松戸中央RC)  
証券業  
4月11日



市川 陽一郎  
(柏西RC)  
動物病院  
4月12日



佐藤 みつ子  
(柏西RC)  
飲食店(焼き肉)  
4月12日



大桃 哲郎  
(君津RC)  
貯蓄銀行  
4月15日



宇田川 仁  
(野田RC)  
商業銀行  
4月15日



鈴木 哲也  
(野田RC)  
商業銀行  
4月15日



中村 彰秀  
(銚子東RC)  
地方銀行  
4月16日



小笠原 潤  
(館山RC)  
商業銀行  
4月17日



川添 公貴  
(千葉南RC)  
情報処理サービス業  
4月20日



植松 高志  
(千葉南RC)  
税理士事務所  
4月20日



栗原 直子  
(千葉南RC)  
化粧品小売業  
4月20日



大串 隆  
(千葉南RC)  
建設機械製造業  
4月20日



岩原 秀一  
(千葉南RC)  
保険媒介  
4月20日



宮内 政樹  
(千葉南RC)  
普通銀行  
4月20日

物故会員(敬称略)



渡辺 勝  
(松戸中央RC)

逝去日:2023年12月31日(享年76歳)  
ロータリー歴:1996-97 クラブ会長



# ガバナー公式訪問

## クラブ紹介

千葉東 RC 松戸 RC 松戸北 RC 市原 RC 千葉緑 RC 印西 RC 船橋東 RC  
 富里 RC 大網 RC 茂原中央 RC 木更津 RC 富津中央 RC 上総 RC 千葉若潮 RC

### 千葉東ロータリークラブ 3/25



当クラブは入会歴が浅いメンバーが多く、かしまらず新しい発想のクラブ運営が出来ております。ベテランの諸先輩もおられ、当クラブの歴史継承も行いつつ新しい取組みを取り入れ活動を行っており、点鐘5分前に行う握手タイムは例会参加者が握手をしながら挨拶をする事で深いコミュニケーションが取れていると思います。(会長 田中 仁一)

の諸先輩もおられ、当クラブの歴史継承も行いつつ新しい取組みを取り入れ活動を行っており、点鐘5分前に行う握手タイムは例会参加者が握手をしながら挨拶をする事で深いコミュニケーションが取れていると思います。(会長 田中 仁一)

### 松戸ロータリークラブ 3/27



鶴沢ガバナーの今年度のスローガン「Bring up Engagement」を念頭にロータリアンやインター

アクトのメンバー、それと台湾の姉妹クラブメンバーとも極力親睦を深めるよう心掛けてきました。当クラブは青少年奉仕事業にも力を入れており昨年はインターアクト年次大会を当クラブがホストとなり盛大に行いました。また11月には台湾への国外研修ツアー、本年3月6日には「第7回松戸ロータリークラブ文化・スポーツ大賞表彰式」を行い、全国大会等で優秀な成績をおさめた市内の中学校、高等学校に「優秀賞」「奨励賞」を贈りました。(会長 太田原慎一)

### 松戸北ロータリークラブ 3/27



昨年50周年を迎え現在は37名の会員の中、若手会員や女性会員の入会も増えクラブにも雰囲気の変化や活気を感じます。メインとなる奉仕活動は地域小学校なかよし学級の生徒さんを招いての梨狩り体験で継続事業としてクラブに根付いてきました。今後も奉仕や行事ごとに対して持ち前の一体感をもって活動し続けます。(会長 小澤直之)

の生徒さんを招いての梨狩り体験で継続事業としてクラブに根付いてきました。今後も奉仕や行事ごとに対して持ち前の一体感をもって活動し続けます。(会長 小澤直之)

### 市原ロータリークラブ 3/28



市原ロータリークラブは今年創立60周年を迎えますが80代から30代まで幅広い年齢構成の中約80名の会員がと

てもフレンドリーに交流・活動をしております。月2回の例会を中心に親睦夜例会、ゴルフや旅行、今年からは自衛隊見学など様々な取り組みを年度計画以外にも随時立案企画してより多くの会員の参加を促しております。(会長 山崎克哉)

### 千葉緑ロータリークラブ 4/2



千葉緑ロータリークラブは会員の団結力が強くクラブへの愛着が強いクラブです。昨年25周年を迎え次の

30周年へ向け5年間の会長幹事の選任をしました。今後も会員の親睦を深めより一層奉仕活動を行なっていくようなクラブ活動を継続していきます。(会長 長谷部 進)

### 印西ロータリークラブ 4/3



創立57年目の少数精鋭で例会の出席率が80%超えのクラブです。活動も積極的で5月のウォークラリーの開催(今回で10回目)。秋は市内のイベント等へ参加をしています。また米山奨学生や交換留学生の受入れ等も行っています。チーバ君のちょうど目のあたりに位置しています。近くに

来られた時は是非お越しください。(会長 稲葉 健)

## 船橋東ロータリークラブ 4/4



スローガンを『HEROES』と掲げさせていただきました。平和を願う奉仕活動を一年間続けていくことを目指

しており地域で必要とされる『まちのヒーロー』となるべく率先し行動しております。また、メンバーとの絆をより深め友愛をさらに構築するため、第3例会と第5週があった場合にお酒を酌み交わす夜例会を開催しております。(会長 三須榮光)

## 富里ロータリークラブ 4/9



当クラブは35名(うち女性1名)の構成です。若手会員(38歳~55歳)が50%を占めており、また地区委員に6名輩出

しているクラブであります。現在ベテラン会員の指導を頂きながら若手会員が中心となりクラブ運営を行っており、親睦や奉仕活動・地区行事へ活発に参加しております。さらに次年度は寒郡ガバナー年度を迎えます。第2790地区の方々へご理解とご協力を頂く事が多々あると思われま。当クラブは全力で取り組んで参りますので宜しくお願い致します。(会長 村上 亮)

## 大網ロータリークラブ 4/10



我がクラブは来年25周年を迎えます。会員数は31名、幅広い年齢層の会員が例会やゴルフなどで親睦を深めて

います。今年度のテーマは「顔の見えるロータリー」です。クラブ公式Instagramを開設し、例会や子ども食堂への支援など、活動の様子をタイムリーに発信しております。興味のある方は、ぜひ一度ご覧ください。(会長 大越将司)

## 茂原中央ロータリークラブ 4/10



茂原中央ロータリークラブは、「楽しく活気があるクラブ」とよく言われます。若さ溢れる新会員も増え、クラブに活気をも

たらしています。夜間例会や親睦ゴルフ等の活動を通して会員相互の融和を図ると共に、行動力ある若いメンバーとそれを補佐する知識と経験のあるメンバーで、ロータリアンとしての精神を活かし多くの社会奉仕活動を通して地域に貢献しています。(会長 杉江敏夫)

## 木更津ロータリークラブ 4/11



木更津ロータリークラブは昨年度70周年を迎えました。地区内では、千葉ロータリークラブに次ぐ歴史のあるクラブです。その歴史や伝統

を学ぶことで知る「らしさ」、100%出席例会を達成した会員一人一人の「らしさ」、様々な「らしさ」がエンゲージメントを育み、楽しみながら活動しています。(会長 大川健士)

## 富津中央ロータリークラブ 4/11



当クラブの会員数は38名。女性会員が4名増で8名になり、クラブの雰囲気が明るく和やかになりました。夜間納涼例会

や月見例会(句会)、新入会員歓迎ゴルフ大会を実施、先月海外姉妹クラブ台湾「嘉義南区ロータリークラブ」の創立45周年式典に総勢24名で訪問、友好を深めてまいりました。(会長 若鍋武良)

## 上総ロータリークラブ 4/11



アットホームな少数会員クラブとして、ここしばらくは繋げて参りました。その間に若い会員の入会があり、

新旧交代が進行しつつありますが、会員増強というわけには参りません。次年度に架け初の女性会員の入会を皮切りに、今後の会員増強に繋げて参ります。(会長 白熊 大)

## 千葉若潮ロータリークラブ 4/11



私たちのクラブは今年度25周年を迎えた若いクラブです。クラブ創立以来、青少年奉仕に力を入れ、

コロナによる中断から今年5年ぶりに復活した青少年ゴルフミーティングは今回で12回目の開催となりました。まだまだ若いクラブですが、次の25年に向けて活気ある新しいクラブを創っていきたく思っております。(会長 村田秀喜)



国際ロータリー第2790地区(千葉)出席・会員数報告(2024年3月末分)

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				2023 7/1との増減
				男性	女性	その他	合計	
第1グループ	市川	100.00	2	32	4	0	36	△4
	市川東	100.00	3	33	2	0	35	0
	市川南	87.70	3	19	2	0	21	2
	浦安	78.50	4	26	1	0	27	△6
	市川シビック	81.20	3	27	0	0	27	△1
	浦安ベイ	83.33	3	14	2	0	16	△4
	平均	88.46	3.00	25.17	1.83	0.00	27.00	△13
第2グループ	船橋	91.36	3	26	0	0	26	△1
	船橋西	73.75	4	17	4	0	21	△2
	鎌ヶ谷	55.92	4	27	1	0	28	1
	船橋東	73.79	3	20	2	0	22	0
	船橋南	83.33	3	10	2	0	12	0
	船橋みなと	94.40	3	12	2	0	14	0
	平均	78.76	3.33	18.67	1.83	0.00	20.50	△2
第3グループ	千葉	69.55	3	102	5	0	107	△1
	千葉コネクトRSC	100.00	2	12	0	0	12	2
	新千葉	48.92	3	57	0	0	57	2
	千葉西	81.31	3	37	6	0	43	0
	千葉中央	91.59	3	22	2	0	24	1
	千葉幕張	87.78	3	26	4	0	30	△1
	千葉東	81.19	2	22	2	0	24	1
	千葉若潮	69.23	3	31	1	0	32	0
	千葉マリンRAC	-	-	1	6	0	7	3
	平均	78.70	2.75	34.44	2.89	0.00	37.33	7
第4グループ	千葉南	66.08	4	52	4	0	56	5
	市原	52.35	2	74	4	0	78	4
	千葉港	76.19	3	20	6	0	26	3
	市原中央	72.13	4	33	1	0	34	1
	千葉北	78.21	3	22	4	0	26	△2
	千葉緑	75.00	2	21	2	0	23	0
	市原中央RAC	-	-	2	6	0	8	0
	平均	69.99	3.00	32.00	3.86	0.00	35.86	11
第5グループ	木更津	84.40	3	19	6	0	25	0
	上総	64.06	4	16	0	0	16	0
	富津中央	75.09	4	29	8	0	37	7
	木更津東	60.35	3	39	5	0	44	△1
	君津	71.75	3	49	6	0	55	△4
	袖ヶ浦	92.91	4	20	2	0	22	1
	富津シティ	58.30	3	14	2	0	16	0
平均	72.41	3.43	26.57	4.14	0.00	30.71	3	
第6グループ	館山	78.63	3	40	3	0	43	△3
	鴨川	79.55	4	23	3	0	26	△3
	勝浦	85.81	4	34	3	0	37	2
	千倉	81.25	2	6	2	0	8	2
	鋸南	82.14	2	13	1	0	14	0
	館山ベイ	57.69	4	27	0	0	27	△2
	鴨川RAC	-	-	3	3	0	6	0
平均	77.51	3.17	20.86	2.14	0.00	23.00	△4	
第7グループ	茂原	89.56	3	54	4	0	58	5
	東金	66.66	3	23	3	0	26	2
	大原	86.70	3	9	1	0	10	△1
	大多喜	75.00	2	7	1	0	8	0
	成田空港南	63.49	3	23	0	0	23	△3
	茂原中央	85.03	4	22	4	0	26	1
	大網	76.34	3	28	3	0	31	2
東金ビュー	80.00	3	9	1	0	10	0	
平均	77.85	3.00	21.88	2.13	0.00	24.00	6	

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				2023 7/1との増減
				男性	女性	その他	合計	
第8グループ	銚子	80.63	3	29	2	0	31	△4
	旭	65.20	3	34	3	0	37	0
	八日市場	40.75	4	32	3	0	35	0
	銚子東	85.35	4	26	2	0	28	2
	千葉科学大学RAC	-	-	19	6	0	25	△15
	平均	67.98	3.50	28.00	3.20	0.00	31.20	△17
第9グループ	佐原	72.62	3	45	0	0	45	2
	多古	51.11	3	17	0	0	17	△1
	小見川	68.31	4	24	1	0	25	1
	佐原香取	96.00	4	22	0	0	22	2
	平均	72.01	3.50	27.00	0.25	0.00	27.25	4
第10グループ	成田	62.69	4	59	9	0	68	△3
	八街	82.35	3	20	3	0	23	1
	印西	83.30	3	7	1	0	8	△2
	白井	71.42	4	13	1	0	14	2
	富里	73.40	4	34	1	0	35	3
	成田コスモポリタン	54.85	3	69	1	0	70	1
平均	71.34	3.50	33.67	2.67	0.00	36.33	2	
第11グループ	柏	84.20	3	53	9	0	62	1
	我孫子	80.80	4	30	3	0	33	0
	柏西	84.28	3	46	8	0	54	4
	柏東	88.30	4	26	5	0	31	2
	柏南	76.25	3	22	6	0	28	△3
	平均	82.77	3.40	35.40	6.20	0.00	41.60	4
第12グループ	習志野	69.88	5	26	1	0	27	0
	八千代	81.01	5	54	0	0	54	△1
	佐倉	72.36	3	38	2	0	40	△2
	八千代中央	88.88	2	19	2	0	21	0
	四街道	61.76	3	24	4	0	28	2
	習志野中央	63.68	4	44	3	0	47	6
	佐倉中央	48.71	3	9	4	0	13	2
	習志野中央RAC	-	-	7	6	0	13	6
平均	69.47	3.57	27.63	2.75	0.00	30.38	13	
第13グループ	松戸	88.33	3	52	1	0	53	△4
	松戸東	85.12	5	42	0	0	42	△2
	松戸北	71.23	3	33	4	0	37	2
	松戸中央	65.30	4	31	7	0	38	3
	松戸西	72.22	4	27	0	0	27	4
	平均	76.44	3.80	37.00	2.40	0.00	39.40	3
第14グループ	野田	74.61	4	59	6	0	65	1
	流山	77.78	3	15	3	0	18	0
	野田東	64.29	4	14	0	0	14	0
	流山中央	67.50	2	19	1	0	20	0
	野田セントラル	87.30	3	20	1	0	21	1
平均	74.30	3.20	25.40	2.20	0.00	27.60	2	

クラブ数 82RC + 1RSC + 5RAC	
2023年 7月1日	地区会員数 2,690人
2024年 3月末日	地区会員数 2,709人 (増減19人)
2024年 3月末日	地区男性会員数 2,464人 (増減2人)
2024年 3月末日	地区女性会員数 245人 (増減17人)
2024年 3月末日	地区その他会員数 0人 (増減0人)
当月平均出席率 74.26%	

今まで(内 女性会員)のみでしたが、2023年7月分報告より(内 男性会員 女性会員 その他会員)の3通りになります。LGBTQ+への理解を推進するロータリーとして第3の選択肢を用意することが必要だからです。なお、申告につきましては自己申告とし、戸籍上の性別ではなくて性自認によるものと致します。